

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
1	保育園・図書館検温用サーモグラフィー設置事業	多くの保育園児・保護者が集まる中央保育園、不特定多数の方が利用する村立図書館の出入口に検温用のサーモグラフィーを設置し、感染の可能性がある発熱者の中に入れないことで、保育園児及び保護者、図書館利用者の安全・安心を確保した。	・検温用サーモグラフィー購入 (中央保育園、村立図書館) @148.5千円×2台=297千円	297,000	297,000		R3.4.26	R3.5.7	・多くの乳幼児が通う保育園、多くの村民が利用する村立図書館における感染防止につながった。
2	地区集会所検温用サーモグラフィー設置事業	多くの地区住民が会合や地区行事等で利用する地区集会所9施設の出入口に計12台の検温用サーモグラフィーを設置し、感染の可能性がある発熱者の中に入れないことで、地区住民の安全・安心を確保した。	・検温用サーモグラフィー購入 (3施設×2台、6施設×1台) @148.5千円×12台=1,782千円	1,782,000	1,782,000		R3.4.26	R3.5.7	・多くの村民が集まる区民会館等の地区集会所における感染防止につながった。
3	役場庁舎安全安心確保事業	役場庁舎で、特に外部の方の利用が多い箇所(会議室1・税務会計室、旧指定金融・廊下・村民ホール、議場ロビー・ホワイエ、廊下・村民ホール)のエアコンを、感染症拡大を防ぐための高性能フィルタと稼動中に窓を開けて換気を行うことに耐える十分な能力を有するエアコンへ更新工事を行った。	・役場庁舎エアコン更新工事 39,405千円	39,405,300	36,556,149	2,849,151	R3.4.20	R3.11.30	・多くの村民が出入りする役場庁舎における感染拡大防止につながった。
4	夜間安全外出のためのLED街路灯整備事業	withコロナの状況下、中長期にわたり感染症対策に向き合う中で、身体的・精神的な健康を維持する上で運動が必要であるため、中高年齢層の健康づくりのため3密を回避できる夜間のウォーキング・ジョギングを推進するための環境を整備した。 (ア)幹線道路の歩道の街路灯を、現在の暗い水銀灯から照度の高いLED灯に変更し、人の少ない夜間に、少数で密にならないよう間隔をとり、安全にウォーキング・ジョギングができる環境を整備した。 (イ)3密を避けられるウォーキング・ジョギング習慣を中高年齢層の村民に普及させるよう、村内の総合型地域スポーツクラブに委託し、健康増進に特に効果的なノルディックウォーキング教室を、週1回程度、夜間に開催した。	・街路灯LED化工事(100基) 7,535千円 ・ノルディックウォーキング教室開催委託 540千円	8,075,000	8,075,000		R3.4.22	R4.3.20	・コロナ禍で外出が制限される中、夜間に3密を回避してウォーキング・ジョギングができる環境がハード・ソフト両面から整えられ、中高年齢層の健康づくりにつながった。
5	タクシー事業者高性能フィルター設置費補助事業	村内に事業所のあるタクシー事業者が、タクシー利用者・乗務員の車内での感染対策のため、本村内営業所への配置車両4台に高性能フィルター付き空気清浄器を設置する費用に対し、1台当たり10万円を助成した。	・タクシー会社への補助 @100千円×4台=400千円	400,000	400,000		R3.6.23	R3.7.2	・タクシーに空気清浄器が取り付けられ、利用者・乗務員の感染防止につながった。
6	住民税非課税世帯商品券配布事業	新型コロナの影響による経済低迷から収入が減少している村内家庭の中でも、特に生活が厳しい低所得者世帯の家計支援を目的に、住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり10千円分の商品券(村内商店で利用できる商工会商品券)を配付した。なお、生活保護受給世帯は、1世帯当たり8千円とした。	・商品券購入 生活保護受給世帯以外 @10千円×377世帯=3,770千円 生活保護受給世帯 @8千円×11世帯=88千円 ・商品券郵送料(特定記録) @254円×388世帯=99千円	3,956,552	3,956,552		R3.8.20	R3.8.31	・コロナ禍において低所得者への家計支援、商工会商品券の使用による村内商店の家計支援につながった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
7	新型コロナウイルス検査費用助成事業	<p>村民の不安を軽減するため、以下の要件を満たす方で無症状の方が抗原定量検査・PCR検査を受ける場合に、その費用の一部について4,000円を上限に助成した。</p> <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内の医療・介護・障害福祉サービス事業所に勤務する方(業務上で県外との往来後) ・介護・障害福祉サービス事業所を利用している村民及びその家族 ・入院の際に病院から検査を求められた村民、管外から帰省した学生 ・成人式出席のため管外から帰省した学生以外の方 ・基礎疾患を持った村民 	・助成額 @4千円×50人=200千円	200,000	200,000		R3.5.18	R4.3.11	・無症状感染に不安を持っている方の検査に要する経済的負担の軽減が図られた。
8・28	コロナ対策リフォーム助成金	<p>新型コロナの影響による経済低迷・可処分所得の減少から住宅リフォームを控える村民が多く、村内の建築関係業者の仕事量が減少していることから、村民が村内の登録業者に住宅等のリフォームを依頼した場合に、工事費用の2割(上限20万円)の商工会商品券を交付し、村内の建築・建設産業の工事需要を喚起した。</p>	・助成用商品券購入 @1千円×21,900枚=21,900千円	21,900,000	21,900,000		R3.4.1	R4.3.31	・村内建築・建設業者への需要喚起につながったほか、商品券が村内商店で利用されることで村内商業の活性化につながった。
9	コロナ対策店舗等リフォーム事業	<p>村内事業者が、客や従業員同士の3密を避ける対策等、新しい生活様式を実践するために店舗、事務所、工場等の対策工事(機械設備の改修を含む)を実施した場合に、要した費用の3割(上限50万円)を助成した。</p>	・補助金交付(5者) 1,979千円	1,979,000	1,979,000		R3.4.20	R4.3.4	・感染防止及び新しい生活様式を実践するための対策工事費用への助成を通じ、事業所内の感染拡大防止、事業者の経営支援につながった。
10	受注機会確保対策事業	<p>当村の製造業者(約10社)は、都市部で行われる製造業向けの展示会に積極的に出展し、多くの新規顧客を獲得していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により展示会の多くが中止になった結果、貴重な受注機会が失われた。そこで、withコロナの状況下で盛んになったWebを活用した展示会への出展により受注機会の確保を図る事業者に対し、商工会を通じ出展料を助成した(1回あたり上限10万円)。</p>	・Web展示会等の出展に要した経費(出展のためのハード整備や広告料等を含む)の補助 1,632千円	1,632,047	1,632,047		R3.4.1	R4.3.25	・Web展示会等への出店を支援することで、村内製造業者の受注機会の確保につながった。
11	事業緊急支援金	<p>新型コロナ感染拡大による影響を受け、年間売上500万円以上かつ2019・2020決算年度比で売上が20%以上減少している事業者に対し、売上減収額の10%(上限100万円)の助成金を交付した。</p>	・事業者への支援金(28者) 17,973千円	17,973,000	17,973,000		R3.6.15	R4.1.14	・コロナ禍の影響を強く受け売上が激減している事業者への支援が図られ、事業の継続につながった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
12	プレミアム商品券発行事業	<p>新型コロナの影響による経済低迷から村民の可処分所得が減少したことで村内商店での売上が減少していることから、村内商店で利用できるプレミアム商品券を発行し買い物需要を喚起した。</p> <p>【概要】 ・「販売額10千円、利用可能額15千円(プレミアム分5千円)(千円券×15枚綴)」を1,800セット販売 販売額 15千円×1,800セット=27,000千円 ・販売対象:村民 ・利用可能商店等:54店</p>	<p>・商品券総発行額 27,000千円のうち村内商店での実際の利用額 26,823千円(換金率 99.3%) (商品券売上収入 10千円×1,800セット=18,000千円) ・商品券印刷代・換金手数料補助(商工会) 1,111千円 ・引換ハガキ印刷・郵送料 152千円</p>	28,086,327	10,086,327	18,000,000	R3.6.29	R4.3.3	<p>・令和3年8月～令和4年1月の半年間に村内商店等で26,823千円が消費され、コロナ禍で利用客が減少した村内商店・飲食店等の消費を喚起し、支援することができた。 ・換金率も99%を超え、高かった。</p>
13	公園トイレ非接触化事業	<p>不特定多数の方が利用する村内5公園の手洗いやトイレ照明スイッチの接触による感染を防ぐため、手洗器の自動水栓化、トイレの照明及び換気扇の人感センサー化工事を行った。</p> <p>・りんごっ子公園 トイレ手洗い自動水栓化 ・福島てっぺん公園 トイレ手洗い自動水栓化 ・明神公園 トイレ手洗い自動水栓化・洗面台改修、照明・換気扇人感センサー化 ・パノラマ公園 トイレ手洗い自動水栓化・洗面台改修、照明・換気扇人感センサー化 ・桜堤公園 トイレ手洗い自動水栓化、照明・換気扇人感センサー化</p>	<p>・非接触化工事 照明・換気扇自動化(3公園) 634千円 手洗い自動水洗化工事(5公園)1,591千円</p>	2,224,563	2,224,563		R3.8.6	R3.12.21	<p>・不特定多数の方が利用する村内公園トイレにおける接触感染の防止につながった。</p>
14	スクール・サポート・スタッフ配置事業	<p>新型コロナの影響により、感染防止のための校内消毒作業等の業務が増加した小中学校教員の負担軽減を図るため、これらの業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを豊丘北小学校及び豊丘中学校の2校(県費で配置されない学校)に1人ずつ配置した。</p>	<p>・スクール・サポート・スタッフ報酬(2名分) 1,464千円</p>	1,464,172	1,464,172		R3.4.1	R4.3.31	<p>・コロナ禍により増加した小中学校教員の校内消毒作業等の負担が軽減され、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制が確保された。</p>
17	中学校教室等の換気対策事業	<p>豊丘中学校において、3密を避けるため教室等の窓を開けて換気を行う際、虫等が侵入しないように窓に網戸(122枚)を設置した。</p>	<p>・網戸設置工事(122枚) 5,377千円</p>	5,376,800	5,376,800		R3.6.14	R3.7.28	<p>・中学校において、虫等の侵入を気にせずに教室の窓を開け、換気が行える環境が整備された。</p>

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
18	GIGAスクール構想加速・強化事業	新型コロナを契機とし、デジタル技術の力を徹底的に活用するGIGAスクール構想のさらなる加速・強化のため、豊丘中学校に電子黒板を1台追加購入するとともに、電子黒板用のデジタル教科書システム用ソフトを導入した。別事業(No.19)にて雇用するICT・教育双方の知見を有するICT教育支援員の助言を得ながら、電子黒板を導入済のノートパソコンと連携させることで、ICTを活用した新たな時代に相応しい学習スタイルの導入・確立を図った。	・電子黒板購入(1台) 704千円 ・電子黒板用デジタル教科書システム用ソフト購入 1,090千円	1,794,100	1,794,100		R3.5.18	R3.6.18	・中学校において、電子黒板等のICTを活用した新たな時代にふさわしい学習環境の整備が図られた。
19	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナを契機とし、デジタル技術の力を徹底的に活用するGIGAスクール構想のさらなる加速・強化のため、ICT・教育双方の知見を有するICT教育支援員を豊丘北小学校、豊丘南小学校、豊丘中学校3校に配置することで、ICTを活用した新たな時代に相応しい学習スタイルの導入・確立を図った。	・ICT教育支援員報酬(1名) 2,042千円	2,042,400	1,021,400	1,021,000	R3.4.1	R4.3.31	・ICT・教育双方の知見を有するICT教育支援員の配置により、小中学校においてICTを活用した新たな時代にふさわしい学習スタイルの導入・確立が図られた。
20・29	成人式対象者新型コロナウイルス検査事業	令和2年度中に開催を予定していた村成人式は、新型コロナウイルス感染拡大のため令和3年度に延期となったため、令和2年度・3年度の2か年の新成人者を対象に令和3年度中に成人式を実施した。感染予防のため、成人式直前に村から医療機関に委託し、出席対象者に対し新型コロナウイルス抗原定量検査(村内会場における出張検査)を実施した。	・成人式出席者への抗原定量検査委託料(89人分) 890千円	890,000	890,000		R3.12.28	R4.1.3	・成人式出席者に対し事前に抗原検査を実施することで、成人式における感染拡大を防止することができた。
21	学校保健特別対策事業費補助金	小中学校において感染症対策を徹底しながら学習活動を継続するために、必要な消毒液等の保健衛生用品等を購入した。	・衛生資材等購入(豊丘南小学校) 800千円 ・衛生資材等購入(豊丘北小学校) 800千円 ・衛生資材等購入(豊丘中学校) 800千円	2,400,000	1,200,000	1,200,000	R3.4.7	R4.3.11	・感染防止のための衛生用品等の購入により、小中学校における感染拡大防止が図られた。
24	抗原定性検査簡易キットを活用した陽性者の早期発見事業	新型コロナウイルス陽性者の早期発見を図るため、感染拡大地域との往来があった方、感染拡大地域から来村・帰省する親族があった方等を対象に抗原定性検査簡易検査キットを有償配布した。	抗原定性検査簡易キット購入 @650円×800個=520千円	520,000	308,800	211,200	R3.8.5	R3.9.17	・感染拡大地域と往来があった方を対象に簡易検査キットを有償で配布することで、村内における感染拡大防止が図られた。
25	学校休業による行事延期に伴う経費支援事業	新型コロナウイルスの蔓延地域を目的地とした中学校の課外学習(修学旅行)について、生徒への感染を防ぐため延期・取り消したことによる旅行会社への手数料・キャンセル料を村で負担した。	・旅行会社への手数料・キャンセル料 関西宿泊代取消料(4月分) 157千円 関西宿泊代取消料(9月分) 150千円 県内旅行取消料 694千円	1,000,810	1,000,810		R3.12.6	R3.12.6	・新型コロナに起因する学校行事のキャンセル料を公費で負担することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
27	テイクアウト・お食事券発行事業	令和3年8月中旬からの新型コロナウイルス第5波の感染拡大により、長野県全域に「特別警報Ⅱ」が出された結果、村内飲食店の売上が激減したため、約2か月(R3.9.15~R3.10.31)の利用期間内に村内飲食店における飲食やテイクアウト商品に利用できるクーポン券を発行し、村民1人当たり1,000円分(500円券×2枚)ずつ配付した。	・クーポン券発行額 6,719千円のうち村内飲食店での利用額 6,211千円(換金率 92.4%) ・クーポン券・チラシ・封筒印刷代 364千円 ・クーポン券郵送料 725千円	7,300,290	3,300,290	4,000,000	R3.9.9	R3.12.3	・2か月という短期間に、村内飲食店で6,211千円が利用されたことで、新型コロナにより利用客が減少した飲食店の消費を喚起し、支援することができた。 ・飲食店でしか利用できないクーポン券であるため、換金率は92%と低かった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証	
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源				
30	国民健康保険加入者(個人事業主)に対する傷病手当金支給事業	国民健康保険加入者で新型コロナウイルス感染者のうち、被用者に対しては労務できなくなった日から起算して3日後から傷病手当金が支給されるが、個人事業主に対しては支給されないため、豊丘村国保として独自に個人事業主に対しても傷病手当金を支給し、この全額について一般会計から国民健康保険特別会計に繰出を行った。	・国保特別会計への繰出金(傷病手当金分) @5千円×14日×1人=70千円	70,000	70,000			R4.3.7	R4.3.31	・新型コロナに罹患し休業を余儀なくされた個人事業主の休業期間中の生活保障がなされた。
32	Web会議システム整備事業	コロナ禍でWeb会議が急速に普及し、村職員はノートパソコンを使用しWeb会議に参加しているが、ノートパソコンでは大人数で会議に参加する際に不便なため、55インチの大画面がついたWeb会議システムを導入した。	・Web会議システム(55インチ)購入 756千円	756,360	756,360			R4.3.23	R4.3.25	・コロナ禍で急速に普及したWeb会議の環境が整備された。
33	感染防止資材購入支援事業	村内事業者(商工業者、医療・福祉施設)が従業員・顧客・利用者等の感染予防のためにマスク、消毒液、仕切りビニールなどの資材を整備する場合に、費用の1/2(上限5万円)を村から助成した。なお、商工会員の事業者については商工会が事業実施し、それに対し村が全額助成する形で事業実施した。	・事業者に対する感染防止資材の助成(37者) 1,189千円	1,189,400	1,189,400			R4.2.2	R4.3.31	・事業者の感染予防資材の導入に要する経費の支援を通じ、事業所・店舗における感染拡大防止、事業者の経営支援につながった。
34	結弁当配達事業	令和4年1月からのオミクロン株の急激な感染拡大により、本村も県基準による感染レベルが「感染警戒レベル5」に上がり、村内飲食店の売上が激減したことから、村内事業所が村内飲食店にテイクアウトで従業員用の弁当を注文した場合にその半額を助成した。なお、弁当の単価は1,000円に統一した。	・事業者に対する助成 @0.5千円×2,976食=1,488千円	1,488,000	1,488,000			R4.2.25	R4.4.15	・3,000食近い弁当が村内飲食店に注文され、コロナ禍で宴会需要が減少し売上が低迷している村内飲食店の売上確保が図られた。
35	抗原定性検査簡易キットを活用した陽性者の早期発見事業(無償配布)	令和4年1月に入り当地域で新型コロナウイルスの感染拡大が起こったことから、陽性者の早期発見を図るため、希望する村民、村内事業所を対象に抗原定性検査簡易キットを無償配布した。	・抗原定性検査簡易キット購入 @650円×1,500個=975千円	975,000	975,000			R4.1.18	R4.3.11	・希望者に簡易検査キットを無償配布することで陽性者を早期発見することができ、村内における感染拡大防止が図られた。
36	テイクアウト・お食事券発行事業(第2弾)	令和4年1月からのオミクロン株の急激な感染拡大により、本村も県基準による感染レベルが「感染警戒レベル5」に上がり、村内飲食店の売上が激減したため、約2ヵ月(R4.2.1~R4.3.31)の利用期間内に村内飲食店における飲食やテイクアウト商品に利用できるクーポン券を発行し、村民1人当たり2,000円分(500円券×2枚)ずつ配付した。	・クーポン券発行額13,346千円のうち村内飲食店での利用額 12,477千円(換金率 93.5%) ・クーポン券・チラシ・封筒印刷代 511千円 ・クーポン券郵送料 595千円	13,583,230	9,683,230	3,900,000		R4.2.1	R4.5.13	・2ヵ月という短期間に、村内飲食店で12,477千円が利用されたことで、急速な感染拡大により利用客が減少した飲食店の消費を喚起し、支援することができた。 ・飲食店でしか利用できないクーポン券であるため、換金率は94%と低かった。
計				168,761,351	137,580,000	10,121,000	21,060,351			